

事業名：江別河川防災ステーション管理経費

治水課 治水係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	03 危機管理の強化・充実								
基本事業	99 施策の総合推進								
開始年度	平成14年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
河川防災ステーション	
手段（事務事業の内容、やり方）	
河川防災ステーションの維持・管理を行う	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が快適に利用できるとともに、防災意識の向上が図られる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開設日数	日	309	309	307	308
活動指標2						
成果指標1	不具合件数	件	2	3	0	3
成果指標2	利用者数	人	66,756	60,330	74,877	70,921
事業費(A)		千円	16,218	17,266	17,387	18,747
正職員人件費(B)		千円	4,013	4,810	4,688	4,694
総事業費(A+B)		千円	20,231	22,076	22,075	23,441

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	江別河川防災ステーションの維持管理	燃料費 1,579,719円 光熱水費 2,619,572円 修繕費 275,100円 委託料 12,311,337円 その他 601,378円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
水防活動の拠点の維持管理や平時の施設利用促進のため。	
事業を取り巻く環境変化	
平成16年度からは、各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 洪水時の対応としての資材の備蓄、水害歴史の後世へ伝達、とかく忘れがちな災害の教育・訓練などは、公的機関である市が行うのは責務と考えている。 さらに、平常時の利活用である江別の物産・観光を多くの近隣住民及び国道通過に提供することで、観光・物産産業の発展に寄与できる。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 当該施設を利用し、生涯学習・社会見学・自主防災組織の教育訓練などの体験型利用により、防災の拠点の意識が高まり、防災意識の高揚に寄与する。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 現在の維持管理水準を最低限堅持すれば、施設利用に対する不具合（老朽化に起因するものを除く）は起きないものとする。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 利用者数の増に向けたソフト事業、PRを工夫することで向上は可能と考える。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠 最小限の経費で管理運営している。